

まるごとまちごとハザードマップの取組み推進

千代田区

千代田区の地勢

○千代田区は皇居より東側の低地部と西側の台地部からなり、低地部は標高2～5m前後の平坦な日比谷一帯と神田一帯に分けられる

○区内で浸水が想定される河川は、一級河川である荒川、神田川及び日本橋川の3河川

風水害対策のための普及・啓発

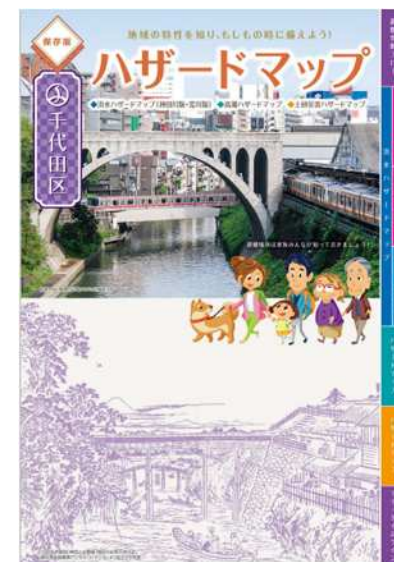
○洪水・高潮・土砂災害のハザードマップを1冊にまとめた「千代田区ハザードマップ」を作成

○ハザードマップ説明動画をYouTubeで公開

▶
説明
動画



▶
冊子
版マ
ップ



⇒しかしながら、...

○ハザードマップを「確認している」と回答した人は47% (111人/239人) と半数以下
(令和5年区内イベントでのアンケート結果)

○YouTube動画も、2021年9月からの約2年で4547回再生

まるごとまちごとハザードマップの取組み推進

千代田区

まるごとまちごとハザードマップ

自らが生活する地域の水害の危険性を実感できるよう、居住地域をまるごとハザードマップと見立て、生活空間である“まちなか”に洪水・高潮の浸水深にかんする情報を表示する取組

メリット

- “まちなか”にあるので無意識に目に入る
- 防災に興味がなく、ハザードマップを確認するまでに至らない人でも浸水深を知ることができる

千代田区のまるごとまちごとハザードマップ

- 令和元年度から、浸水想定区域内に所在する公共施設等に、浸水深表示を設置。
- 荒川・神田川・高潮ごとに表示を作成。

区内公園



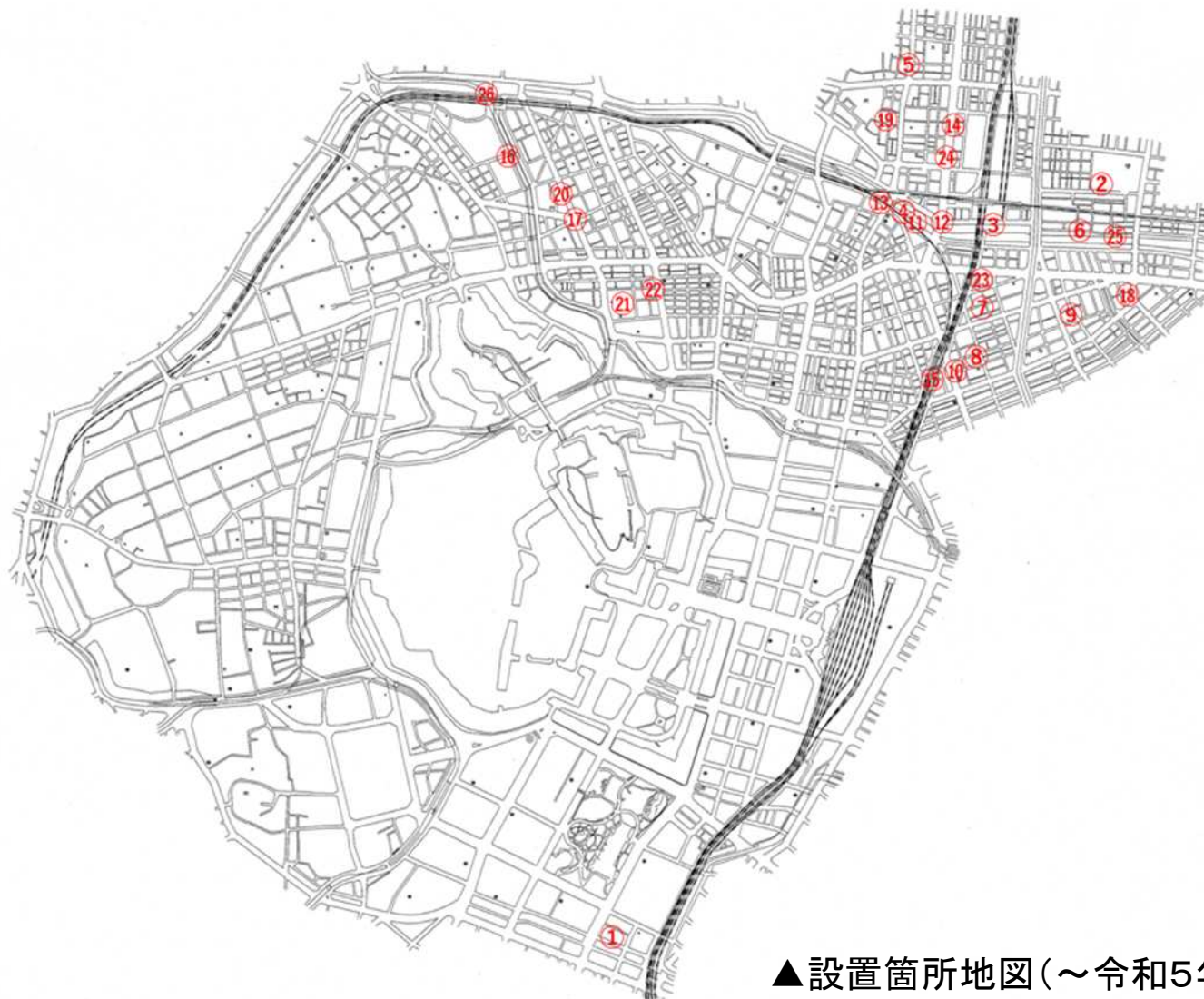
区内警察署



まるごとまちごとハザードマップの取組み推進

千代田区

- そのほか、要配慮者の利用がある学校施設や高齢者施設にも設置
- 令和6年度は駅に設置をし、設置完了の予定



▲設置箇所地図(～令和5年度)